**感染制御学講座**

**教授候補者への依頼アンケート**

候補者 現職

 氏名

この度は、教授候補者に応募いただきありがとうございます。選考の参考とさせていただくため、以下の内容に、ご回答ください。

1. **教育**

１）医学部、大学院医学系研究科等における講義や実習の経験について、大学教員と非常勤講師に分け、例に従い下記表中に記載してください。（注）行が足りない場合は適宜追加してください。

【大学教員】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 授業科目名 | 学部・大学院 | 担当コマ数 | 区分 | 担当年数 |
| 例）○○学 | ○○大学医学部医学科 | 3コマ | 講義 | 5 |
| 例）○○実習 | ○○大学大学院○○研究科○○課程○○専攻 |  | 実習 | 6 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

【非常勤講師】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 授業科目名 | 学部・大学院 | 担当コマ数 | 区分 | 担当年数 |
| 例）○○学 | ○○大学医学部医学科 | 3コマ | 講義 | 3 |
| 例）○○実習 | ○○大学大学院○○研究科○○課程○○専攻 | 5 | 実習 | 4 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

* 1. 医学部教育において臨床実習の充実が求められています。その実現のために、臨床実習を支える基礎医学をどのように展開するかが重要だと考えられます。医学教育（講義・実習等）について、これまでに実施してこられた工夫と成果、お考えを記載してください。
	2. 将来の日本の医学・医療のレベルを維持・向上するため、研究マインドを持った医師の育成が必要だと考えられます。医学教育の中で研究マインドを醸成する方策について、これまで試みてこられた工夫と成果、お考えを記載してください。
	3. 教室員や大学院学生（社会人も含む）への指導実績（指導テーマ、取得学位、指導人数）について記載してください。
	4. 大学院学生数の増加が本学医学部の研究の活性化に不可欠と考えられます。基礎医学教室における大学院学生の確保について、これまで試みてこられた工夫と成果、お考えを記載してください。
1. **研究**
	1. 主な研究業績について、600字以内で分かりやすく記載してください。
	2. 教授就任後に、継続発展させたい主な研究課題と、新たに着手したい研究課題について、記載してください。
	3. 臨床系教室・他学部・学外などとの連携についてお考えを記載してください。
2. **管理・運営**
	1. 大学の管理・運営に関する役員、委員等の経験について、例に従い下記表中に記載してください。なお、現在の所属先以外の役職を記載いただいても構いません。（注）行が足りない場合は適宜追加してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 機関・部局 | 役職名 | 年数 |
| 例）○○大学医学部 | 例）医学部教育委員会委員 | 2 |
|  |  |  |
|  |  |  |

* 1. 本学医学部医学科感染制御学講座は、細菌学分野、ウイルス学分野、医動物学分野で構成されています。着任後の分野の運営方針について、お考えを記載してください。
1. **社会貢献**

これまでの人材育成や研究が国内外の社会貢献に結びついた経験がありましたら、記載して下さい。

1. **感染症対策**
	1. これからの日本と世界の感染症の課題と対策について、お考えを記載してください。
	2. 感染症対策に従事した経験があれば記載してください（学生・大学院生教育を含む人材育成、対策研究、感染症診療、行政等、関係があれば内容に偏りがあっても構いません）。特に、COVID-19パンデミックにおける活動の実績があれば、臨床科や他職種、行政との連携にどのように貢献されたか記載して下さい。
	3. 鳥取大学医学部には診療を担当する臨床感染症学講座があります。感染症対策において、今後どのように連携を取っていくかお考えを記載してください。
2. **鳥取大学医学部感染制御学講座による教育・研究・社会貢献**

鳥取大学医学部感染制御学講座の一員として、各分野が広い専門性を維持しながら、独自性を発揮するために、教育・研究・社会貢献をどのように推進すべきか、お考えを記載してください。

1. **その他**

教授選考の参考となる事項があればご記載ください。（履歴書、研究業績目録、上記アンケートの記載内容との重複は避けてください。）